

# 国保料 来年度すえおき

岡山市は2022年度の国民健康保険料を引き上げない方針を示しました。国保運営協議会(書面議決)で明らかにしました。

## 就学前児は均等割半額

所得の高い世帯の最高限度額は3万円上がります。就学前児童は国制度で均等割が半額になり、最大で子ども一人あたり年18,240円安くなります。

国保の均等割は、子どもが増えるほど保険料が上がります。子育て支援に逆行する内容になっています。党市

議団は子ども均等割の無料化を求めています。

## 国保料引き下げを

2月2日、岡山市社会保険推進協議会が18歳までの子ども医療費無料化を求める署名7,703筆とともに、国保料引き下げを求める署名8,131筆を市に提出しました。多くの声も寄せられています(写真上)。コロナ禍の今こそ国保料は引き下げが必要です。

## ひびく

新型コロナウイルスの感染拡大の中、県は無症状者への無料検査を1月末で終わらせてしまいました。また市は、学校では感染対策すれば無症状者からの感染リスクは低いと言い、医療機関が感染者周辺の職員に自主検査をしても支援しません。感染が下火の時に手を打たず、今はなりゆきまかせです。(東つよし)

◆市長に一言◆  
国保料が高く困っています。自営業のため国保料の値下げをお願いします!!

◆市長に一言◆  
国保料を高校生まで無料にして下さい。同じ所得ならサラリーマンと同じ位にして下さい。P/O

署名とともに  
寄せられた声  
市長へ(一部)

## 経費が大幅増 路面駅前広場乗り入れ

岡山市は1月18日、路面電車の駅前広場乗り入れの計画変更を発表しました。予定していた案内所の屋根などの整備を取りやめても経費が

どです。補強工事の計画ミスや電車安全装置の追加によるものです。経費は当初10億円程度としていました。その後、駅前広場を後楽園風にする

66億円に増えること、完成が約2年半遅れて2025年秋ごろになることな

やめても経費が66億円に増えること、完成が約2年半遅れて2025年秋ごろになることな



駅前の噴水は取り壊し予定です

ることを含めて43億円にふくらみ、現在は当初の6倍を超える予測です。岡山市には公共交通が不便な地域に20万人が住んでおり、うち5万人が高齢者です。しかし市には公共交通不便地域解消の計画はありません。

経費が増え続ける駅前広場乗り入れは止め、市民の交通権・移動権を保障できる交通政策へ、東市議は見直しを求めています。

あずま

東

つよしの  
奔西走

